

部長会議付議事案書（報告）

（令和6年8月6日）

提案課名 総合政策課

報告者名 小山田 範人

事案名	総合計画はだの2030プラン後期基本計画 基礎調査結果の概要について	資料 有 無
提案趣旨	現在、令和8年度から12年度を計画期間とする総合計画後期基本計画の策定作業を進めていますが、後期基本計画における具体的な施策や目標設定の基礎資料とすることを目的に実施した基礎調査結果の概要について報告するものです。	
概要	基礎調査の概要 1 市民2,000人アンケート (1) 調査の対象 秦野市内在住の満16歳以上の市民より2,000人を無作為抽出 (2) 実施方法 郵送配布後、郵送回収・Web回収を併用 (3) 実施期間 令和5年12月8日（金）～12月25日（月） 2 市外在住者アンケート (1) 調査の対象 秦野市周辺に居住している16歳以上の男女 (2) 実施方法 インターネットによるアンケート (3) 実施期間 令和5年12月8日（金）～12月22日（金） 3 転入・転出・転居者アンケート (1) 調査の対象 戸籍住民課の窓口にて届出をした者 (2) 実施方法 戸籍住民課窓口にてアンケート用紙を配付し回収 (3) 実施期間 令和5年12月1日（金）～令和6年11月29日（金） 4 社会経済動向等の調査 ※ 詳細は資料のとおり	
経過	令和5年度 後期基本計画策定に向けた基礎調査を実施 令和6年5月10日 策定方針（案）を部長会議に付議	
今後の進め方	令和6年度においては、基礎調査結果を資料として、後期基本計画における施策等の検討を進める。 具体的には、庁内の策定組織を設置し、庁内一丸となった取組みを進めるとともに、市民ワークショップの開催や地域まちづくり計画策定会議の設置・開催等を行う。	

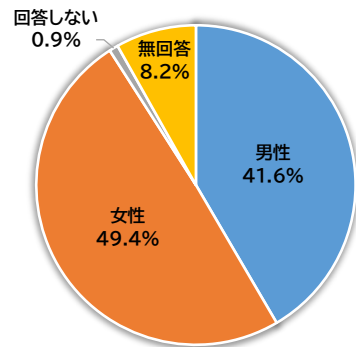
1 市民2,000人アンケート (1/2)

【調査概要】

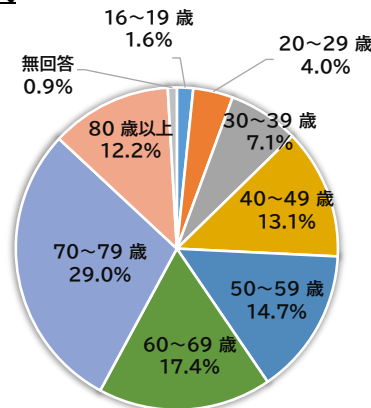
市民の声を後期基本計画の策定や市政運営の参考とするため、本市の住民基本台帳に登録されている16歳以上の2,000人(無作為抽出)を対象に実施し、551人から回答いただきました。

【回答者の属性】

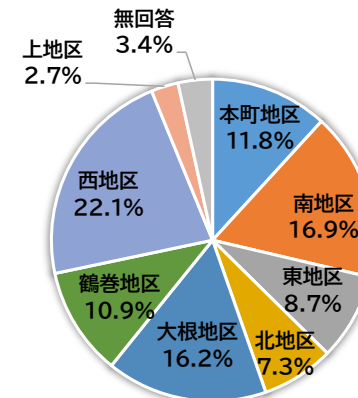
性別



年代

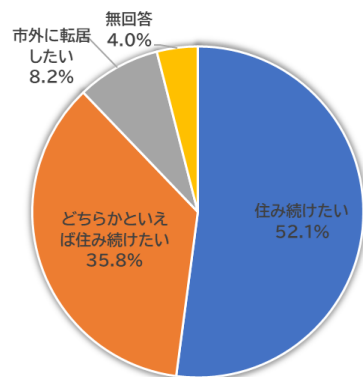


居住地区

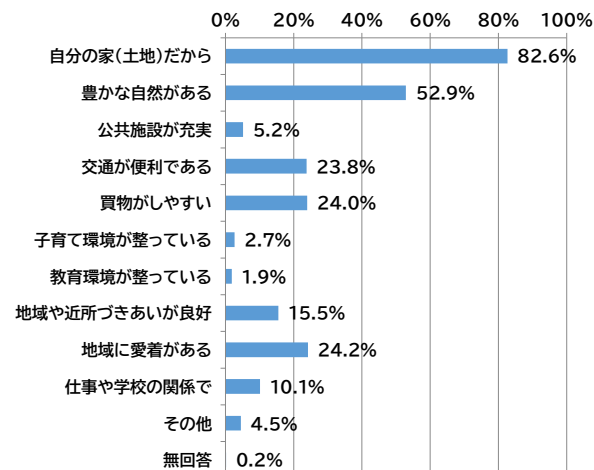


【定住意向】

秦野市に住み続けたいと思うか

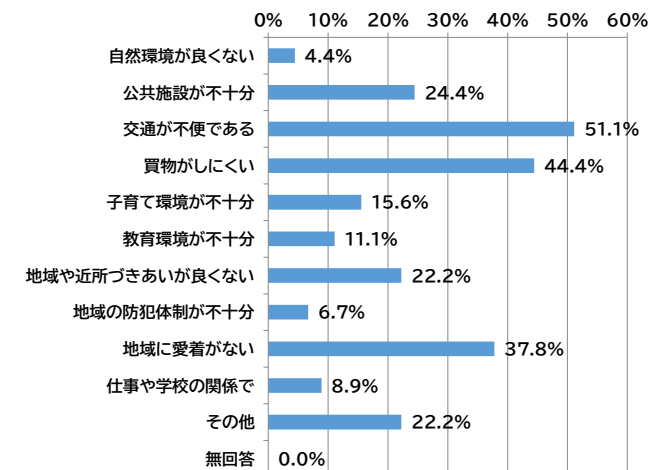


住み続けたいと思う理由(複数選択可)



※ 集計結果は、回答者484人のうち当該選択肢を選択した割合を示す

転居したいと思う理由(複数選択可)



※ 集計結果は、回答者45人のうち当該選択肢を選択した割合を示す

1 市民2,000人アンケート (2/2)

【秦野市の取組みの満足度・期待度】

秦野市の取組について、「現在の満足度」と「今後の取組への期待度」を下記の1～5の5段階で評価してもらい、その結果をもとに、「満足度」と「期待度」について単純比較するため、加重相加平均値を算出しました。

さらに、「満足度」と「期待度」について加重相加平均値の関係を下記のグラフ上に整理し、A～Dのカテゴリーに分類しました(相対評価)。

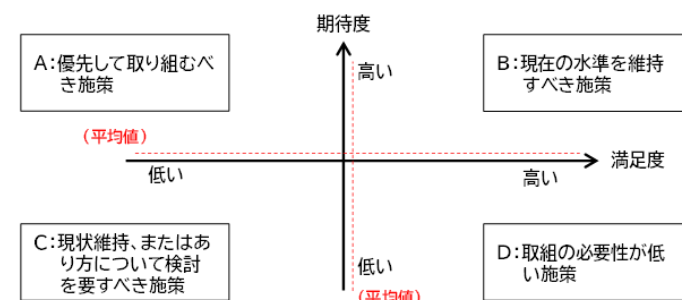
「加重相加平均値の算定手順」

満足度	得点	期待度	得点
5. 満足である	→ 10点	5. 一層力を入れて欲しい	→ 10点
4. まあまあ満足である	→ 5点	4. どちらかといえば力を入れて欲しい	→ 5点
3. どちらともいえない	→ 1点	3. どちらともいえない	→ 1点
2. やや不満である	→ -5点	2. どちらかといえば力を入れなくてよい	→ -5点
1. 不満である	→ -10点	1. 力を入れなくてよい	→ -10点
無回答	欠損値 (得点計算の対象外)	無回答	欠損値 (得点計算の対象外)

$$\text{満足度・期待度} = \frac{(a)\text{回答数} \times 10 + (b)\text{回答数} \times 5 + (c)\text{回答数} \times 1 + (d)\text{回答数} \times (-5) + (e)\text{回答数} \times (-10)}{(a) \sim (e)\text{回答数}}$$

※例えば、全員が「4. まあまあ満足である」を選んだ場合、その項目の加重相加平均値は5点となる。

A	満足度平均以下、期待度平均以上(優先して取り組むべき施策)
B	満足度平均以上、期待度平均以上(現在の水準を維持すべき施策)
C	満足度平均以下、期待度平均以下(現状維持、またはあり方について検討を要すべき施策)
D	満足度平均以上、期待度平均以下(取組の必要性が低い施策)



「A:優先して取り組むべき施策」

1	健康で暮らせるための病院、救急医療などの身近な医療体制	10	快適な道路づくりと地域に愛される公園や緑地の創造
2	高齢者等が安心して暮らすための施設やサービス(高齢介護サービス等)	11	地域を結ぶ公共交通ネットワークの確保・維持
3	障害児・者が自分らしく暮らすための支援(障害福祉サービス等)	12	雇用、就労への支援の充実
4	妊娠・出産・育児までの切れ目のない支援(保育所等サービス確保含む)	13	人にやさしくにぎわいのある商店街づくりへの支援の充実
5	安心して子育てできる環境づくり(放課後児童ホーム等)	14	空家等の適正管理と活用
6	支援を必要とする子ども・家庭への対応	15	公平・公正で活気あふれる開かれた市役所づくりへの取組み
7	教育水準の改善・向上による子どもたちの新たな学びの推進	16	適正かつ持続可能な行政経営に向けた取組み
8	地球温暖化対策の推進と再生可能エネルギーの積極的活用	17	健全で着実な財政運営に向けた取組み
9	持続可能な都市農業の推進(農の担い手確保、鳥獣被害対策等)		

2 市外在住者アンケート(回答者318人) (1/2)

【調査概要】

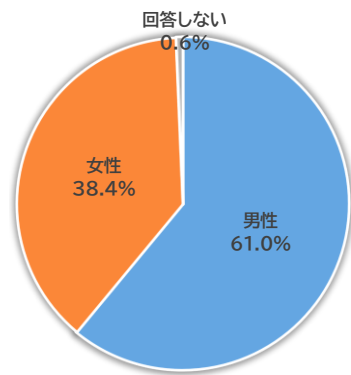
市外在住者が居住地を選んだ理由や秦野市との関係等を調査するため、本市周辺在住の16歳以上を対象に、インターネットリサーチ会社を活用したモニター調査を実施し、318人から回答いただきました。

※ 周辺市町村：湘南都市圏域自治体 ： 平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町

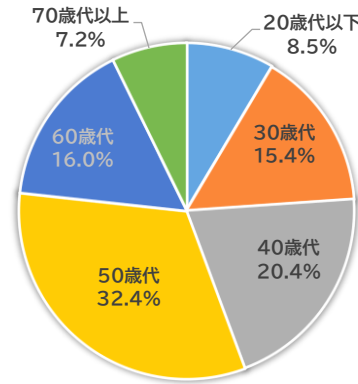
本市近隣小田急線沿線自治体： 海老名市、厚木市、小田原市、中井町、松田町、大井町、開成町

【回答者の属性】

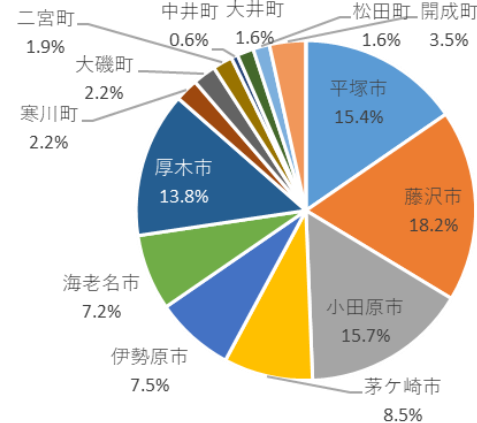
性別



年代

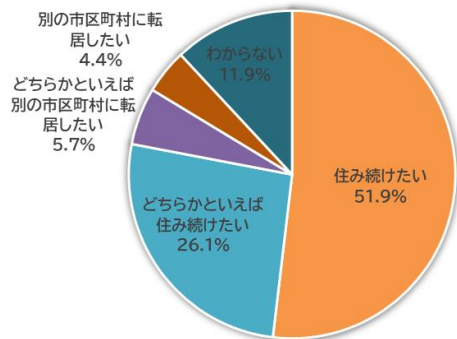


居住地

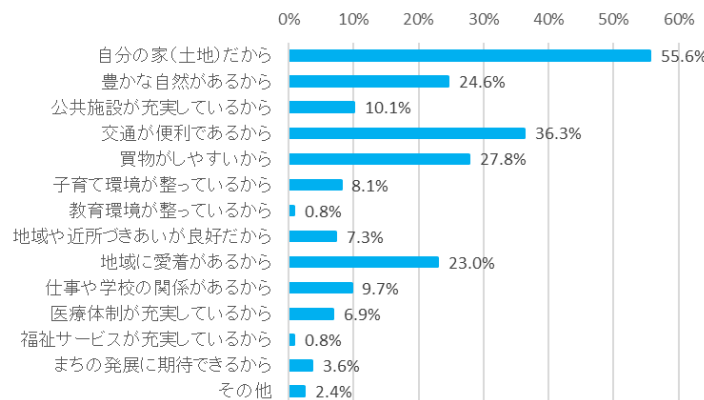


【定住意向】

居住地に住み続けたいと思うか

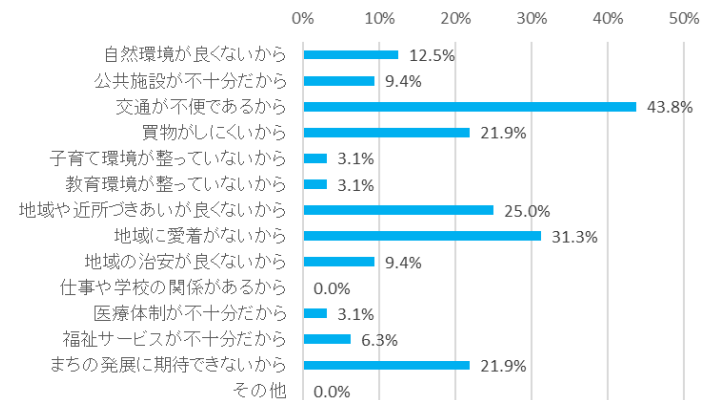


住み続けたいと思う理由(複数回答可)



※ 集計結果は、回答者248人のうち当該選択肢を選択した割合を示す

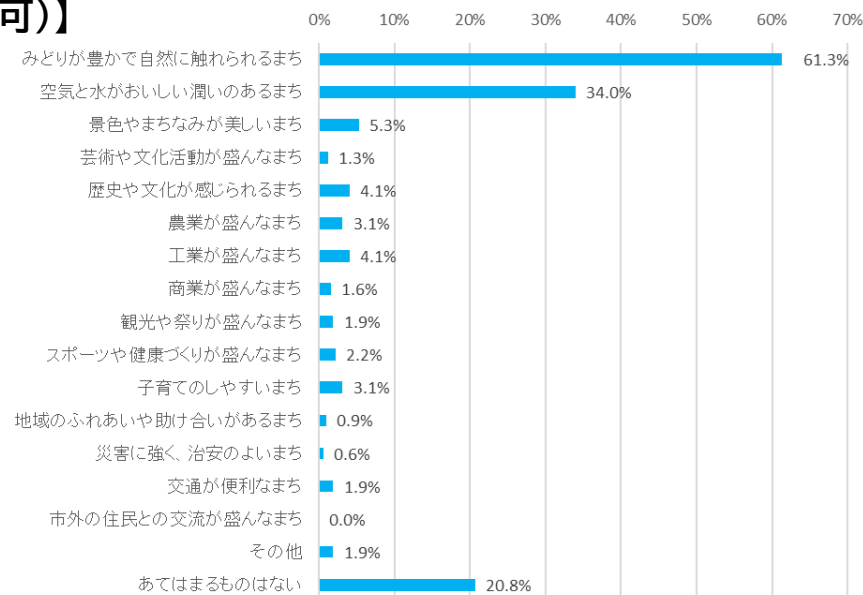
転居したいと思う理由(複数回答可)



※ 集計結果は、回答者32人のうち当該選択肢を選択した割合を示す

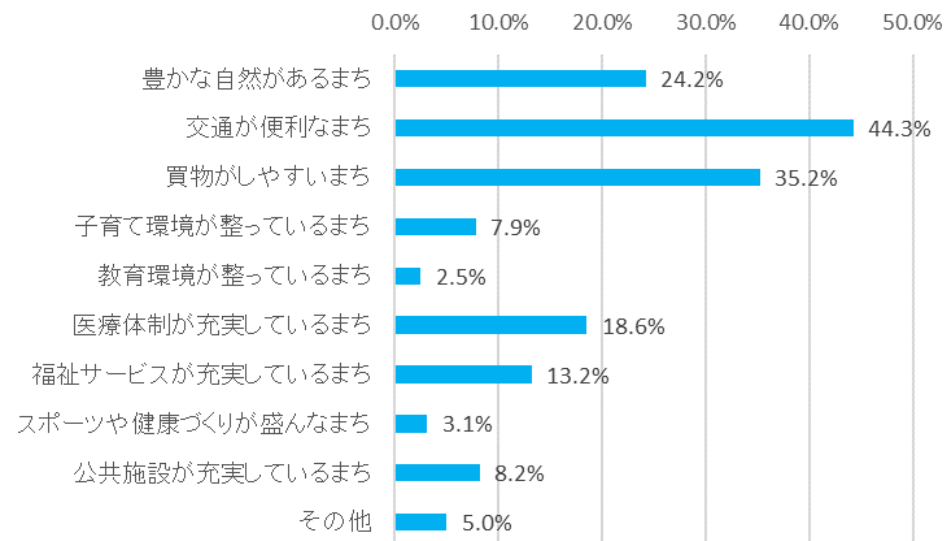
2 市外在住者アンケート(回答者318人) (2/2)

【秦野市に対するイメージ等(複数回答可)】



※ 集計結果は、回答者318人のうち当該選択肢を選択した割合を示す

【秦野市がどのようなまちであれば住みたいと思うか(複数回答可)】



※ 集計結果は、回答者318人のうち当該選択肢を選択した割合を示す

3 転入・転出・転居者アンケート

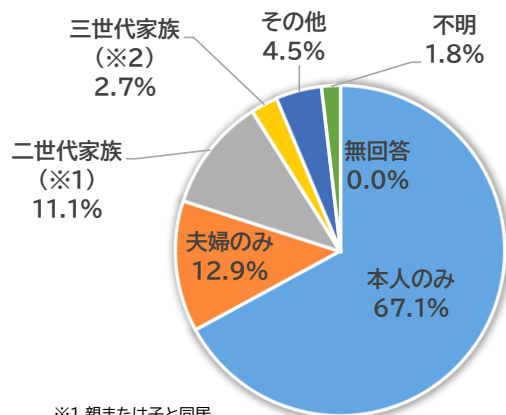
【調査概要】

転出入及び市内転居する理由等を把握し、今後のまちづくりの参考とするため、他市等へ転出される方、他市等から転入される方、市内で転居される方を対象に実施しています。調査は令和5年12月から本年11月末まで継続して実施中であり、本報告は、令和6年2月29日までを集計したものです。

3-1 転入者アンケート(回答者334人)(1/2)

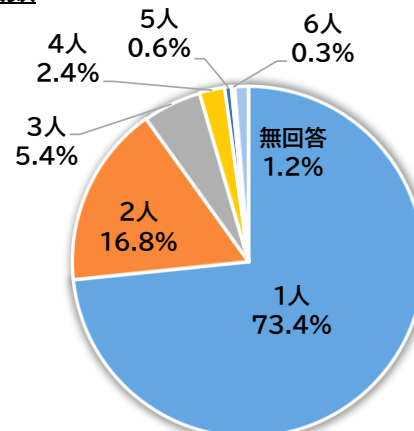
【回答者の属性】

家族構成

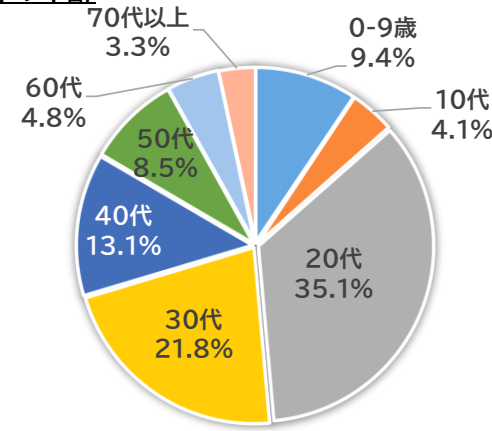


※1 親または子と同居
※2 祖父母、親と同居、または子、孫と同居

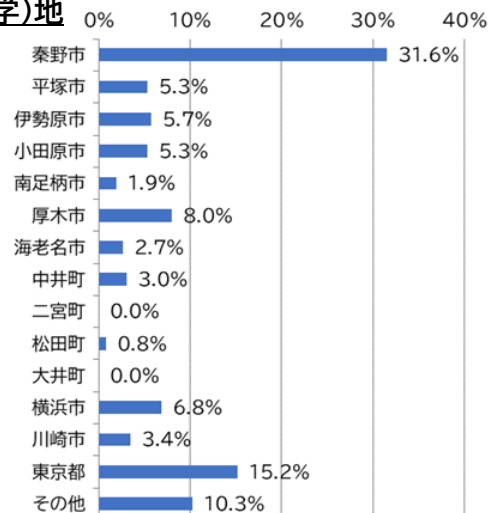
世帯の人数



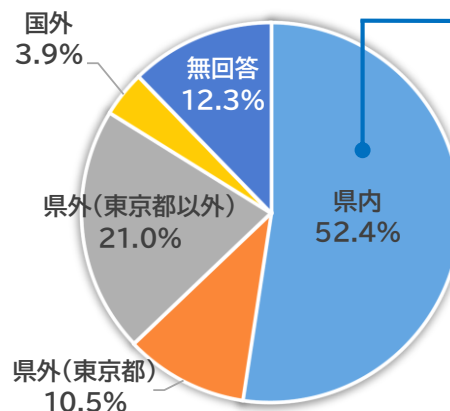
転入者の年齢



通勤(通学)地



前居住地

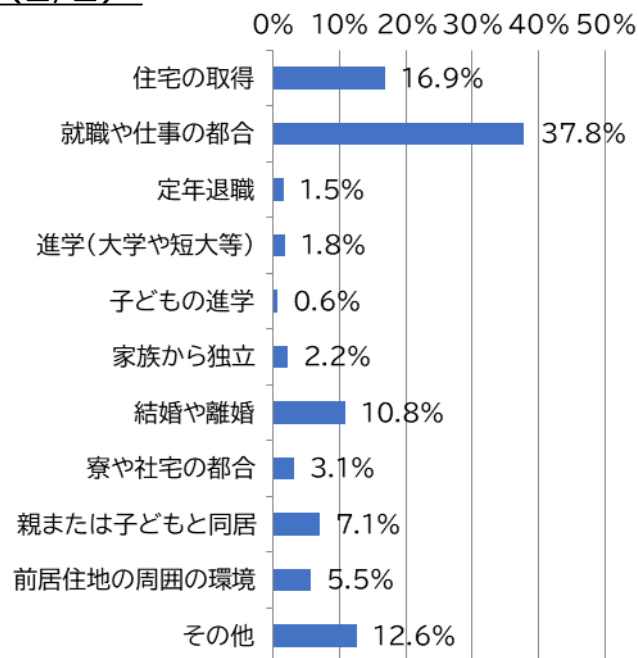


(県内の内訳(近隣4市・その他))

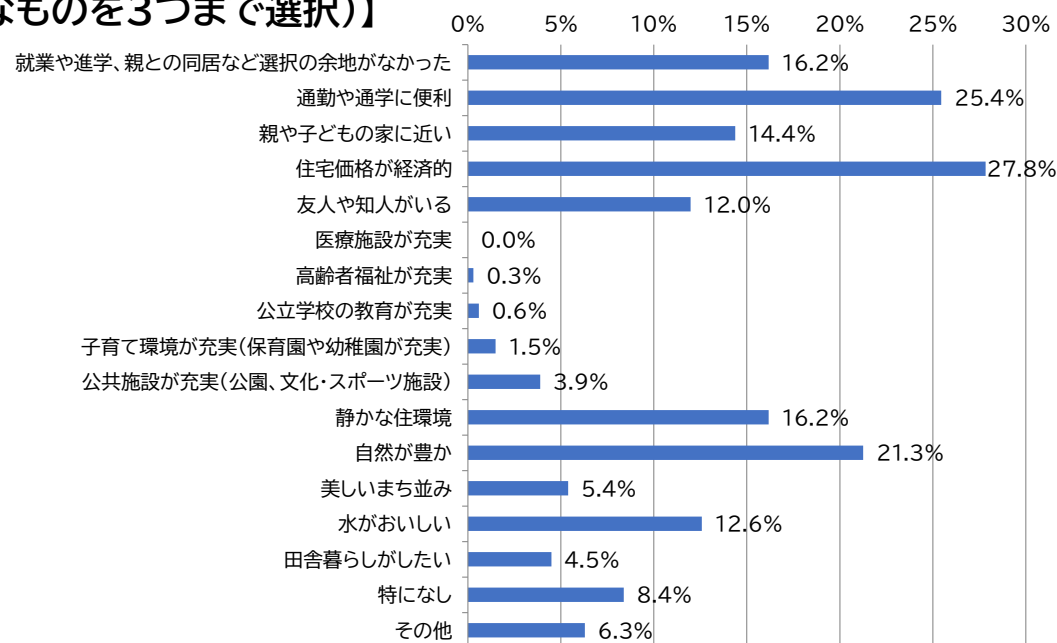
選択肢	回答率
厚木市	7.4%
伊勢原市	9.1%
平塚市	10.3%
小田原市	6.3%
4市合計	33.1%
その他県内	66.9%
合計	100.0%

3-1 転入者アンケート(回答者334人) (2/2)

【秦野市に転入するきっかけ(理由)】



【秦野市を選んだ理由(主なものを3つまで選択)】

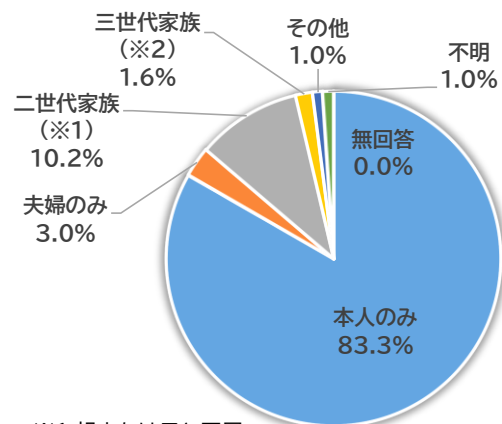


※ 集計結果は、回答者334人のうち当該選択肢を選択した割合を示す

3-2 転出者アンケート(回答者305人)(1/2)

【回答者の属性】

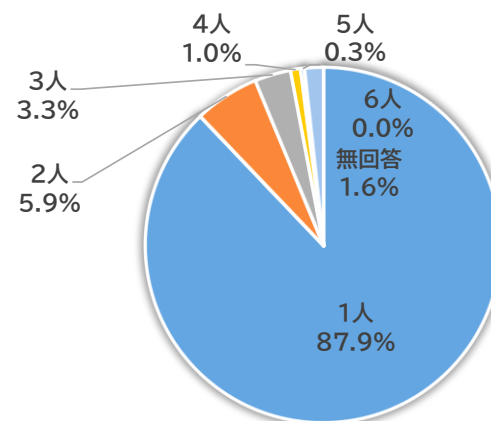
家族構成



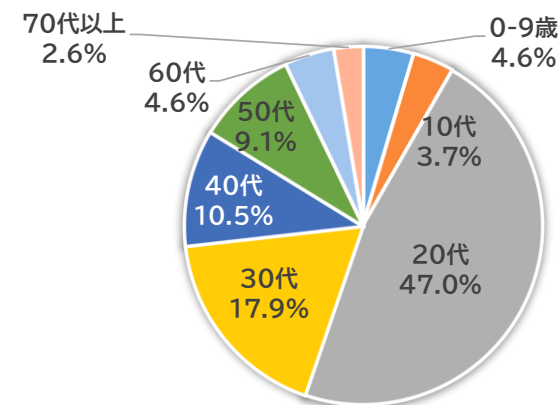
※1 親または子と同居

※2 祖父母、親と同居、または子、孫と同居

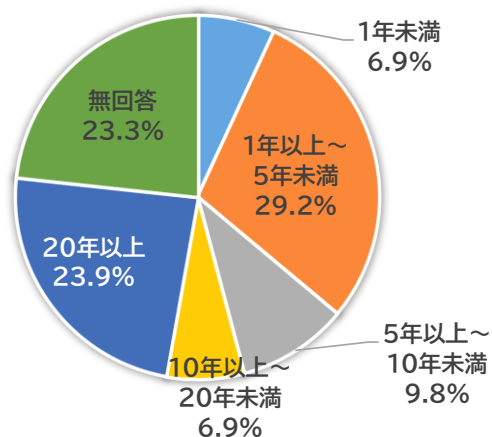
世帯の人数



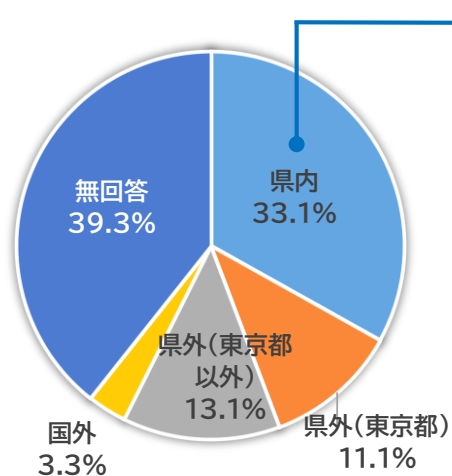
転出者の年齢



居住した年数



転出先の市町村

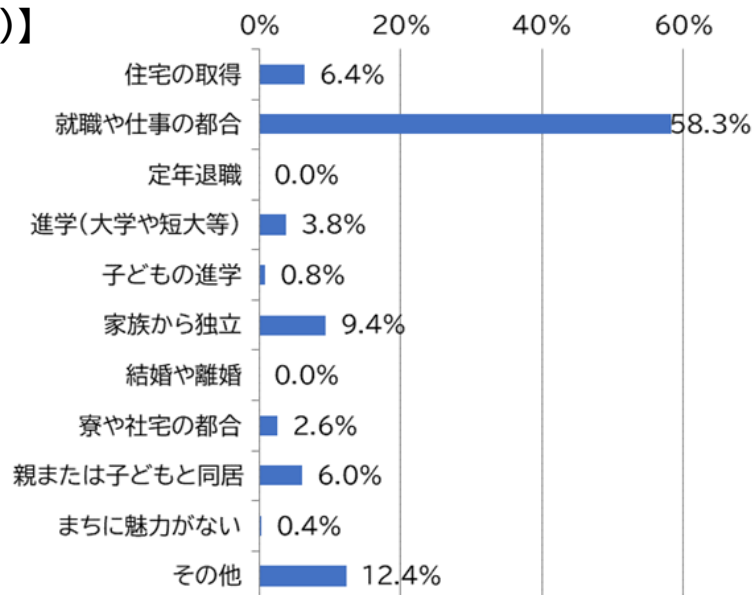


(県内の内訳(近隣4市・その他))

選択肢	回答率
厚木市	7.9%
伊勢原市	5.9%
平塚市	8.9%
小田原市	6.9%
4市合計	29.7%
その他県内	70.3%
合計	100.0%

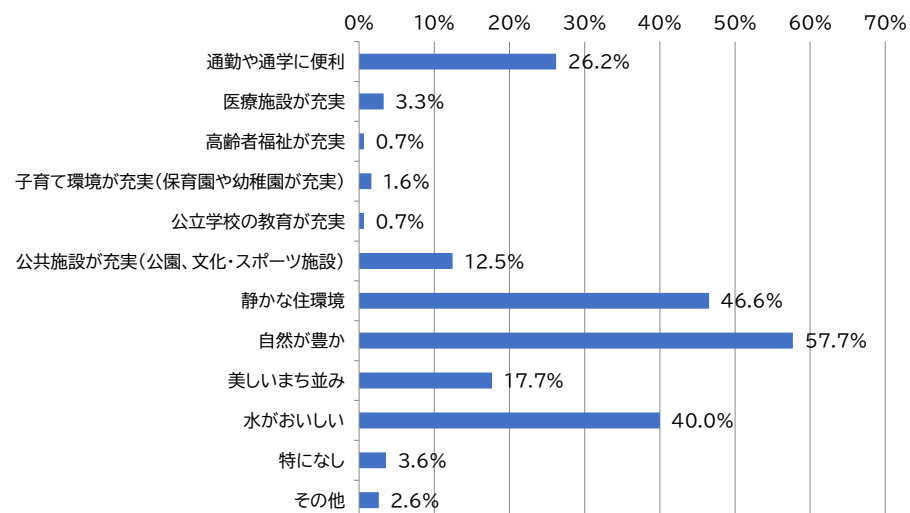
3-2 転出者アンケート(回答者305人) (2/2)

【秦野市から転出するきっかけ(理由)】

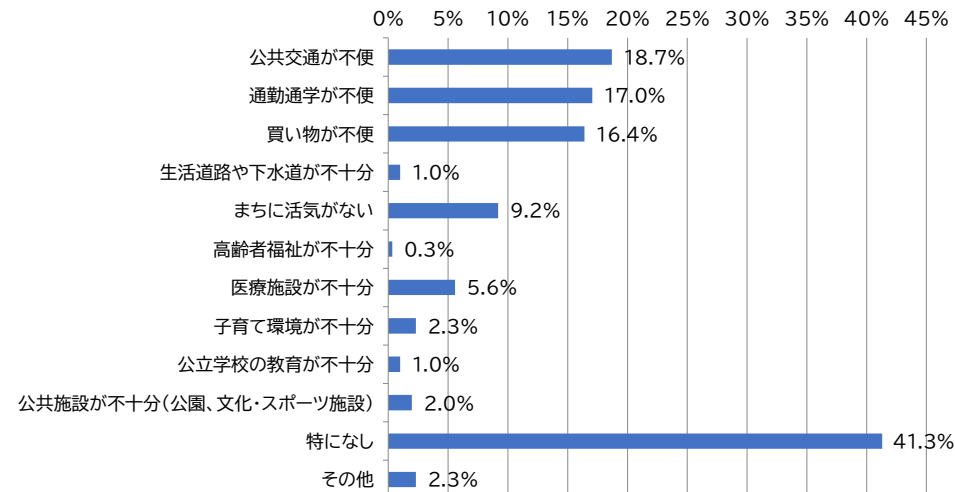


【秦野市に対する印象・評価】

秦野市に住んで良かった点(主なものを3つまで選択)



秦野市に住んで不十分(不便)に思った点(主なものを3つまで選択)



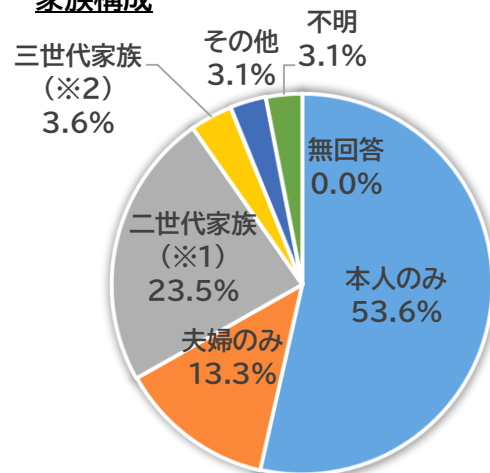
※ 集計結果は、回答者305人のうち当該選択肢を選択した割合を示す

※ 集計結果は、回答者305人のうち当該選択肢を選択した割合を示す

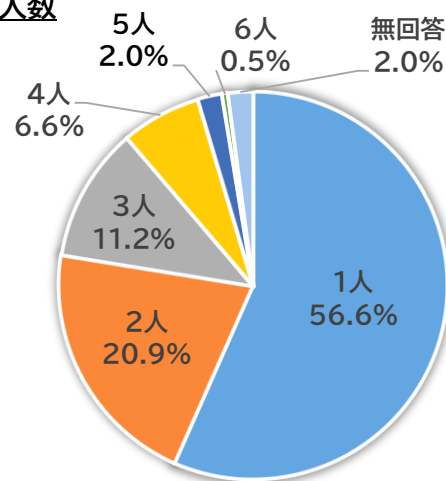
3-3 市内転居者アンケート(回答者196人)(1/2)

【回答者の属性】

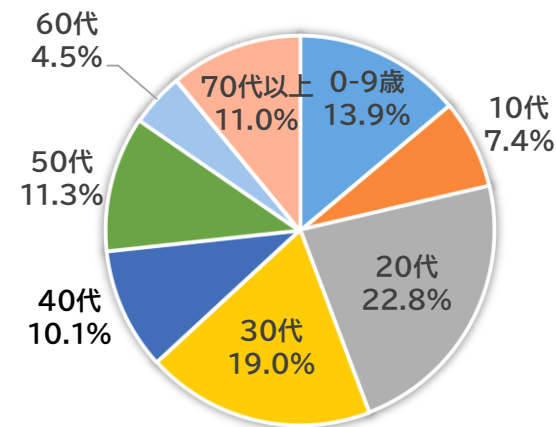
家族構成



世帯の人数



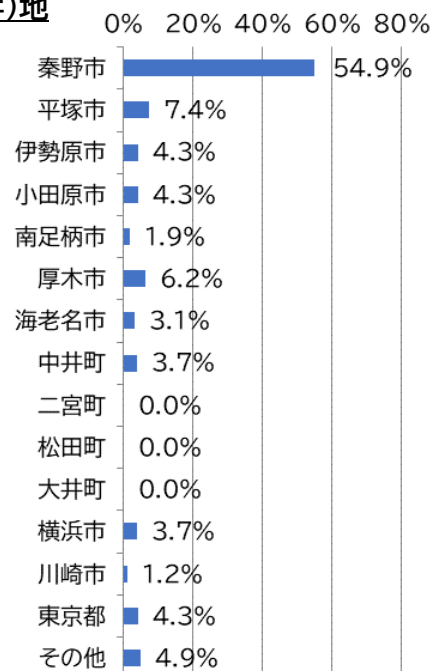
転居者の年齢



※1 親または子と同居

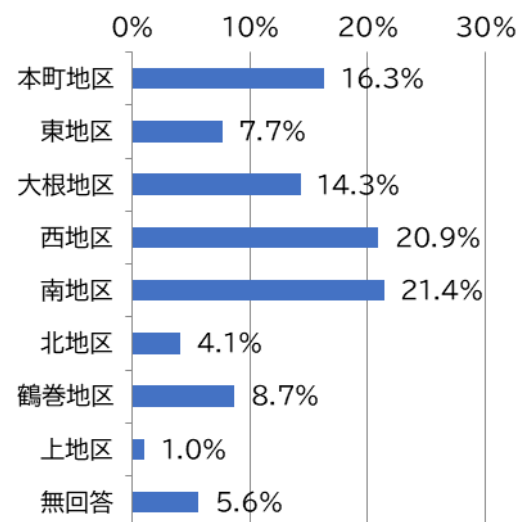
※2 祖父母、親と同居、または子、孫と同居

通勤(通学)地

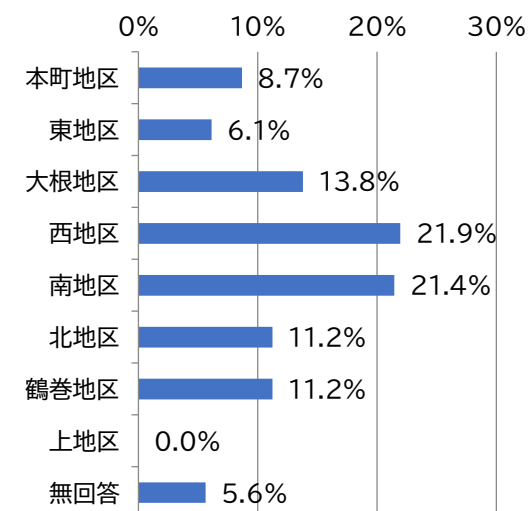


転居前、転居先の地区

(転居前居住地区)

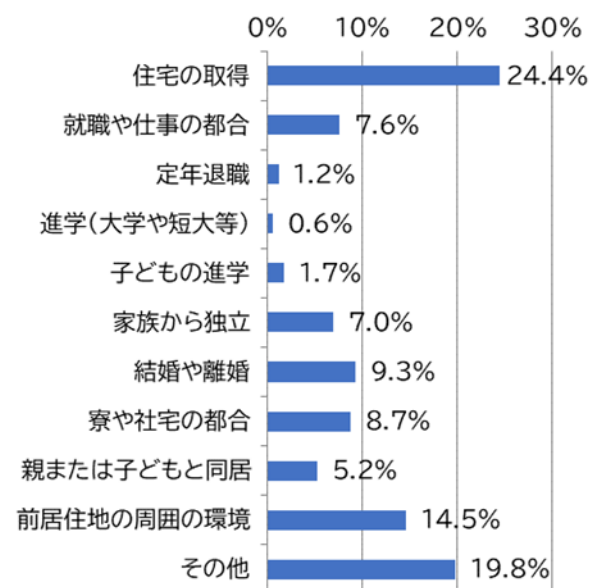


(転居先地区)

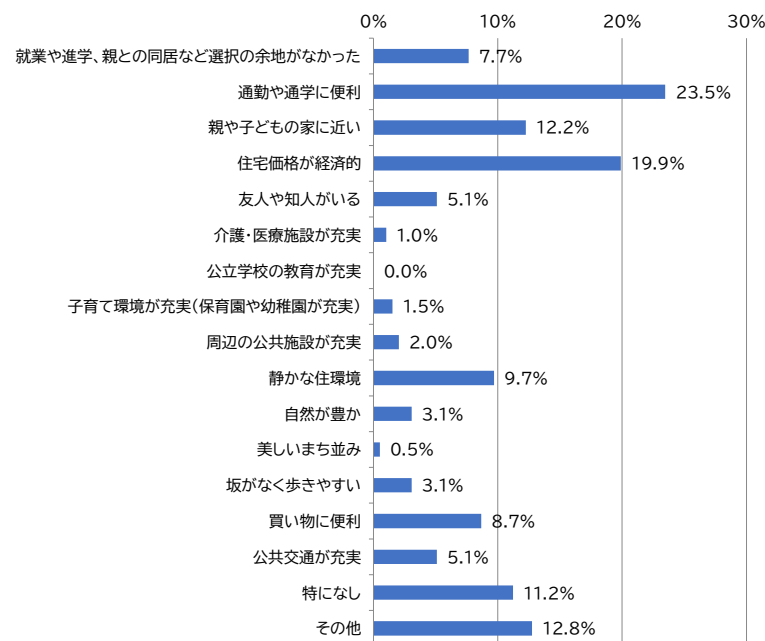


3-3 市内転居者アンケート(回答者196人) (2/2)

【市内転居するきっかけ(理由)】



【転居先を選んだ理由(主なものを3つまで選択)】



※ 集計結果は、回答者196人のうち当該選択肢を選択した割合を示す

4 社会経済動向等調査 (1/3)

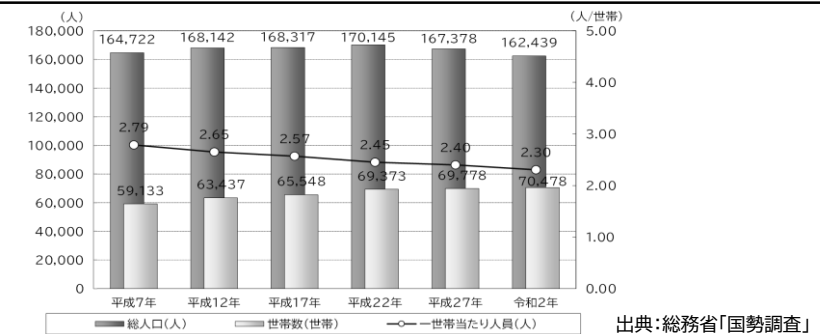
【調査概要】

本市の現状と課題(強みと弱み)を明らかにし、後期基本計画において効果的な施策を位置付けるための基礎資料を得ることを目的に実施しました。
他市町村との比較では、神奈川県内全市町村に加え、県外類似団体4団体(茨城県ひたちなか市、埼玉県久喜市、千葉県野田市、千葉県佐倉市)との比較を行いました。

【本市の人口等の動向】

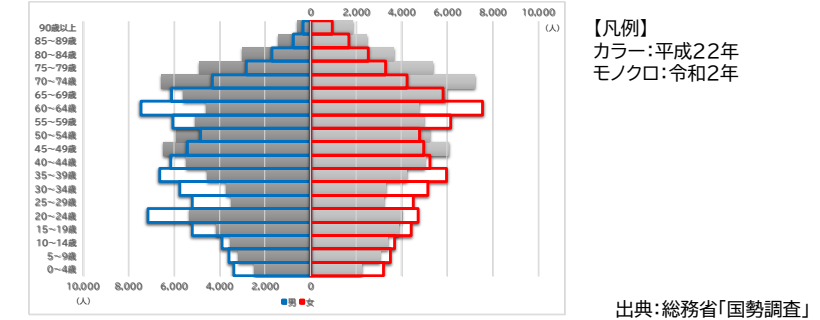
総人口は平成22年をピークに減少

- 総人口は、平成22年の170,145人をピークに減少に転じ、令和2年は162,439人
- 世帯数は、平成7年以降一貫して増加傾向にあり、令和2年は70,478世帯
- 1世帯当たり人員は、平成7年以降一貫して減少傾向にあり、令和2年は2.30人



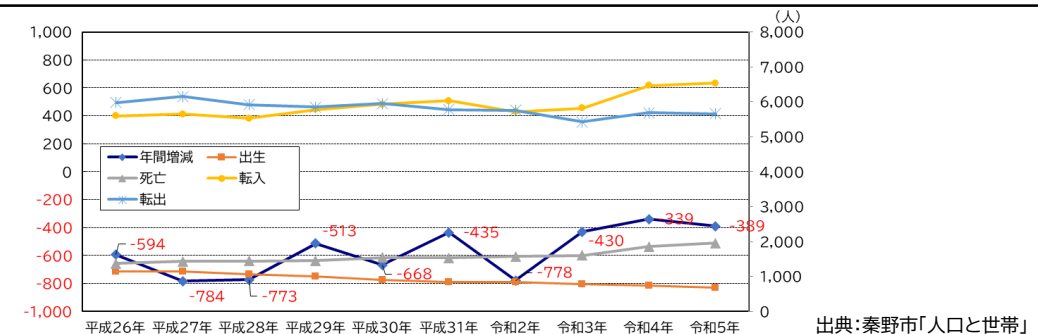
男女ともに70～74歳が最も高い割合を占める(令和2年)

- 令和2年では、男女ともに70～74歳が最も高い割合を占め、男性が8.2%、女性が9.0%
- 平成22年と令和2年を比較すると、男女ともに70歳未満では、一部の年代(45～54歳)を除き減少している
- 平成22年と令和2年を比較すると、男女ともに70歳以上は増加している



自然減、社会増の傾向

- 自然動態では、一貫して出生数は減少、死亡数は増加傾向
- 社会動態では、令和2年以降増加に転じ、令和5年にかけて転入超過傾向
- 総人口の減少要因として、自然動態が悪化していることが大きな要因



4 社会経済動向等調査 (2/3)

- 表中の「平均」は、各項目における比較全37自治体の平均値を示す。
- 表中の「順位」は、各項目において、数値が高い順(降順)に並べた時の順位を示す(※「50歳時の未婚率」を除く)。

【本市の特徴】

50歳時の未婚率(生涯未婚率)が増加傾向

- ・ 男女ともに増加傾向
- ・ 直近(令和2年)は男性が31.8%(全体29位)、女性が15.3%(全体21位)
- ・ 平成22年は男性が全体25位、女性が全体16位であったが、男女ともに順位が低くなっている

(50歳時の未婚率の推移) ※ 順位は「低い順」に並べた時のもの

出典:総務省「国勢調査」

年	男性			女性		
	平均	秦野市		平均	秦野市	
		生涯未婚率	順位		生涯未婚率	順位
平成22年	21.5%	22.1%	25位	9.6%	8.3%	16位
平成27年	26.0%	27.5%	28位	13.2%	11.9%	13位
令和2年	28.0%	31.8%	29位	16.0%	15.3%	21位

女性(20～39歳)有配偶者率が減少傾向

- ・ 20～39歳女性の有配偶率は減少傾向にあり、直近(令和2年)は4割を下回った
- ・ 平成22年は全体25位であったが、直近(令和2年)は全体31位と位置づけが中位から下位に落ち込んでいる

(女性有配偶者率の推移)

出典:総務省「国勢調査」

年	平均	秦野市	
		女性有配偶者率	順位
平成22年	46.4%	45.5%	25位
平成27年	44.1%	43.1%	26位
令和2年	41.4%	39.7%	31位

就業率(15歳以上)は相対的に下位

- ・ 就業率は概ね5割前後で推移し、直近(令和2年)は50.5%
- ・ 相対的な位置づけは直近(令和2年)で全体25位

(就業率の推移)

出典:総務省「国勢調査」

年	平均	秦野市	
		就業率	順位
平成22年	54.1%	51.6%	31位
平成27年	53.1%	49.7%	33位
令和2年	52.5%	50.5%	25位

4 社会経済動向等調査 (3/3)

- 表中の「平均」は、各項目における比較全37自治体の平均値を示す。
- 表中の「順位」は、各項目において、数値が高い順(降順)に並べた時の順位を示す(※ 前頁「50歳時の未婚率」を除く)。

【本市の特徴】

納税者一人当たり課税所得対象額は相対的に下位

(納税者一人当たり課税所得対象額の推移) 出典：総務省「市町村税課税状況等の調」

- ・ 納税者一人当たり課税所得対象額は増加傾向にあり、直近(令和4年)は3,331千円
- ・ 相対的な位置づけは直近(令和4年)で全体25位

年	平均	秦野市	
		課税所得対象額	順位
令和2年	3,419千円	3,215千円	22位
令和3年	3,486千円	3,253千円	25位
令和4年	3,570千円	3,331千円	25位

合計特殊出生率は人口置換水準と乖離

(合計特殊出生率の推移) 出典：神奈川県「衛生統計年報」

- ・ 直近(令和2年)は1.11で、人口置換水準である2.07とは依然として乖離
- ・ 総合戦略のKGI1.43(令和7年)とも乖離
- ・ 相対的な位置づけは直近(令和2年)で25位

※ 本市の最新の数値はR3年の1.07。上記は比較可能年次として令和2年を直近としている

年	平均	秦野市	
		合計特殊出生率	順位
平成30年	1.26	1.12	30位
令和元年	1.21	1.08	30位
令和2年	1.14	1.11	25位

地価は近隣市と比較して安価

(地価の推移) 出典：(一財)土地情報センター「都道府県地価調査」

- ・ 住宅地平均価格は微減傾向にあるが、令和4年以降は79,900円/㎡を維持
- ・ 相対的な位置づけは直近(令和5年)で全体22位

年	平均	秦野市	
		地価/㎡	順位
令和3年	106,078円	80,400円	22位
令和4年	107,043円	79,900円	22位
令和5年	109,524円	79,900円	22位